

研修で
学校が
変わる

中堅教諭等資質向上研修③ 6年目研修② まとめ

令和3年7月27日（火）

Web会議による遠隔研修（各校）

「自己有用感と人間関係づくり」

講師 城戸 茂 氏（愛媛大学 教授）



【研修のねらい】

- 自己有用感を育成することの大切さを理解し、よりよい人間関係を築く取組を推進する。

社会性の基盤

自己有用感の育成

認められて（自信を持って）育つ

人間関係力を築く力の育み

特別活動・学級経営からのアプローチ

- ・ 学級会
- ・ 異年齢集団活動
- ・ 多様な他者との交流活動
- ・ 役割演技
- ・ 振り返り活動

学級づくり
⇒ 準拠集団
指示的風土の育成

環境づくり
歩みが分かる掲示

言語活動の充実

みんなで決めたことをどう実践できたか！
百人の一步を大切に！

日々の授業からのアプローチ

≪生徒指導の三機能の発揮≫

自己存在感・共感的な人間関係・自己決定
教科の論理と生徒指導の論理を高める授業

よりよい人生を送るために大切な力

人との関わりなどを通して学ぶ
学びに向かう力、人間性等

認知的能力の高まり

これからの教育

非認知的能力の育成

小中連携で
大きな効果

～ 明日への想い（中堅教諭の声）～

- ・ 自己有用感を高めることが、これから生きる子どもたちにとっていかに大切であるかが理解できた。本年度は異年齢交流での活動を年間を通して行う予定なので、学級会で話し合いをし、自分たちで決めたことで自己有用感が高まるようにしていきたい。また、日々の教師の声かけや表情など、子どもたち一人ひとりをしっかり見て、親身になって関わってきたい。
- ・ 授業において生徒指導と教科指導のバランスが大切だという話があった。つつい教科指導のみに重点を置いた授業になりがちなので、生徒指導の三機能を意識して授業構成を考えていきたい。

～（6年目教諭の声）～

- ・ 自己存在感を与える、共感的な人間関係を育てる、自己決定の場を作る、の3つの点をこれからの授業の際に意識していきたい。理科の授業の様子をビデオで見て、子どもたちへの声かけや関わり方の参考になった。まずは子どもたちへの前向きな声かけを心がけたい。
- ・ 学力をつけなければと認知的能力を重視した学習を考えがちだが、他人との関わりの中で自己有用感を育むことが最終的に人間関係の安定や学力の向上に繋がる。今後は特活以外の学習でも、非認知的能力を育むことも考えたバランスの良い授業を目指していきたい。

- ・ 理科の授業動画の先生の声かけ、安心させる雰囲気づくりが大変参考になった。間違えてもいい雰囲気、前向きな言葉かけ、ありがたいという言葉は安心できる雰囲気だ。
- ・ 学級掲示、学年掲示の充実。今まで行事ごとに掲示をしても時期が過ぎれば剥がしてしまうことも多かったが、1年を通じて学級や学年の歩んできた足跡がわかるように掲示の工夫をしてみたい。
- ・ 今回見た掲示は事前事後ともに児童一人一人の心の成長や学級の団結意識の高まる内容だった。学校行事や学年の取り組みに合わせて児童の思いを載せた掲示をしていきたい。